

地球温暖化防止実行計画

平成27年10月

金沢市清掃株式会社

1 事業内容

金沢市清掃株式会社は事業活動として廃棄物の収集・運搬・中間処理及び環境関連施設の維持管理を行っていることを十分認識し、健康で文化的な生活に欠かせない環境保全活動を推進し、豊かな社会環境の維持に努めることを基本理念としており、会社概要は以下のとおりです。

商号 金沢市清掃株式会社
所在地 金沢市東力2丁目47番地48番地
設立 昭和45年3月4日
資本金 1,800万円
従業員数 41名〔平成27年3月末現在〕

主要業務 1.一般廃棄物及び産業廃棄物の収集、運搬、処分
2.一般廃棄物処理施設の維持管理及清掃
3.一般廃棄物、産業廃棄物の処理施設の設計、施工
4.道路、溝渠及河川の清掃
5.環境衛生用品の販売
6.貯水槽及受水槽の清掃
7.一般建設業〔とび・土工、コンクリート工事、浚渫工事、管工事〕
8.下水道管路施設の清掃、調査及改修
9.前各号に附帯する一切の事業

2 計画の目的

当社は、地域の環境美化及び環境保全に努め、地域社会の生活環境の向上に取り組んでおります。また平成19年5月31日にISO14001を認証取得し、環境方針の基、自ら率先し環境保全に取り組むため、本計画を策定いたします。

3 計画の期間

地球温暖化防止計画は、ISO14001の実施計画と一体で取り組むため、計画期間は平成27年7月1日から平成30年6月30日までの3カ年とします。

4 計画の範囲

この計画の適用範囲は、次の範囲とします。

(1)本社

(2)ISO14001と同じ事業活動範囲

- ・一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬及び中間処理(汚泥の乾燥・廃油の油水分離)
- ・下水道施設の清掃・カメラ及び目視による調査・維持管理(浚渫工事、管工事含む)
- ・道路・溝渠及び河川の清掃、貯水槽の清掃、浄化槽の保守点検・清掃

5 温室効果ガスの排出量の現況

(1) 基準年度(平成26年度)の排出状況

項目	消費量	二酸化炭素換算量
ガソリン	12,561 L	29,142kg-CO ₂
軽油	127,503 L	328,958kg-CO ₂

(2) 施設・事業別排出割合

事業活動別割合の算出は困難であるため事業活動全体の発生量として算出します。但し、エネルギー起源二酸化炭素排出量を対象とします。

(3) エネルギー別排出割合

26年度のエネルギー別割合は以下のとおりです。

二酸化炭素排出量		(単位: kg-CO ₂ 、%)	
区分	排出量	割合	
燃料	ガソリン	29,142	7.5%
	軽油	328,958	84.1%
	灯油	9,220	2.4%
	LPG	1,148	0.3%
電力	22,451	5.7%	
二酸化炭素排出量	390,919	100.0%	

(4) 温室効果ガスの排出原因

当会社の事業活動における温室効果ガス排出原因の中で、最も影響の大きなものは、軽油使用によるものであり、次いで大きなものはガソリンの使用で当会社の総排出量の91%を占めています。

その要因は次のとおりです。

1) 軽油の使用

- ・一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬車(塵芥車)及びダンプ車両の燃料使用
- ・大型吸引車及び高圧洗浄車等の特殊車輛の燃料使用

2) ガソリンの使用

- ・営業車、作業車の燃料使用

3) 電力の使用

- ・照明の使用
- ・パソコン、コピー機、プリンター等OA機器の使用
- ・テレビ、冷蔵庫等の家電機器、自販機の使用

4) 灯油の使用

- ・暖房機器の使用
- ・風呂場ボイラーの使用

5) LPGの使用

・食堂厨房・事務所ガスコンロ、暖房機器の燃料使用

6 OA用紙、廃棄物、水道使用量の現況

(1) 平成26年度OA用紙使用量

当社はA4(100%)を基準として(A3は200%)(B4は150%)(B5は75%)として枚数換算しています。

A4換算使用枚数	119,579 枚
----------	-----------

(2) 平成26年度廃棄物の現況

廃棄物の種類及び排出量

廃棄物は(厨房生ごみ以外) 全量リサイクル処理 (単位:Kg)

内訳	数量	内訳	数量
白上質紙(シュレツダー)	56.4	あき缶	12.4
新聞紙	222.7	ペットボトル	4.3
ダンボール	18.6	厨房生ごみ	362.4
チラシ等その他の紙	120.9	一般廃棄物合計	797.7
		廃プラスチック(産廃)	97.4

(3) 平成26年度水道使用量の現況

水源別使用量 (単位:m³)

区分	使用量
上水道	1,399.0
地下水(社屋内・洗車場)	195.1

7 二酸化炭素排出量の削減目標

平成26年度の排出量を基準として削減目標を次のとおり設定します。

なお、削減目標を設定するにあたって二酸化炭素排出量は使用量を原単位とします。また当会社はISO14001認証より8年経過、従来より燃料・電力等の削減を計画的に実施しており削減目標は29年度末までに3%削減とします。

二酸化炭素排出量の削減目標

区分	27年度	28年度	29年度
ガソリン使用量	12,435 L	12,310 L	12,184 L
軽油使用量	126,228 L	124,953 L	123,678 L
灯油使用量	3,666 L	3,629 L	3,592 L
LPG使用量	380 Kg	375 Kg	371 Kg
電力使用量	35,278 kWh	34,925 kWh	34,568 kWh
二酸化炭素排出量	387,010 Kg-CO ₂	383,101 Kg-CO ₂	379,191 Kg-CO ₂
削減目標(対26年度)	1%	2%	3%

8 削減のための取り組み

(1) 車輻燃料使用量の削減 ガソリン・軽油

1) 削減目標

車輻燃料使用量を平成26年度の使用量を基準に、29年度末までに3%削減します。

2) 目標達成に向けた重点的施策

営業車輻はもとより、塵芥車・ダンプ・特殊車輻等に以下のことを記載したものをダッシュボードに貼付し注意喚起に努める。

- ① 不要なアイドリングはしない。
- ② 移動の際は効率的なルート(距離・時間)を考慮する。
- ③ 急なアクセル操作は控える。
- ④ 過積載はしない。

また、毎月の使用燃料等の対前年比較実績表を掲示し意識を向上させます。

(2) 電気使用量の削減

1) 削減目標

電気使用量を対26年度の使用量を基準に、29年度末までに3%削減します。

2) 目標達成に向けた重点施策

照明・OA機器・空調機器の使用について下記事項の具体的な注意事項を社内に掲示し協力すよう周知徹底する。

- ① 昼食時(12:00~13:00)は事務所等不要な照明は消灯を徹底します。
- ② 使用していない応接室、不在個所等の不要な照明は消灯を徹底します。
- ③ パソコンの省電力設定を行い、また非使用時のパソコンの電源切断を徹底します。
- ④ 梅雨時・夏季(6月~9月)はエアコンを28℃以上に設定使用に努めます。
- ⑤ 冬季(11月~3月)はエアコンを22℃以下に設定使用に努めます。
- ⑥ 空調機器の横に使用日時・期間・設定温度の記載用紙を貼付し意識の向上に努めます。
- ⑦ クールビズ、ウォームビズ等政府の温暖化対策に協力します。

(3) 灯油・LPG使用量の削減

1) 削減目標

灯油・LPG使用量を対26年度の使用量を基準に、29年度末までに3%削減します。

2) 目標達成に向けた重点施策

- ① 暖房機器の定期点検整備します。
- ② 冬季(11月~3月)は室温22℃以下に設定使用に努めます。
- ③ 暖房機器の横に使用日時・期間・設定温度の記載用紙を貼付し意識の向上に努めます。
- ④ 厨房作業担当者の節減意識を向上させます。

⑤風呂場使用時間を設定します。

9 その他の環境対策

その他の環境対策として以下の取り組みを行います。

(1) OA用紙の削減

1) 削減目標

OA用紙使用量を、26年度の使用量を基準に、29年度末までに3%削減します。

2) 目標に向けた重点施策

- ①OA用紙の裏面活用を図ります。(個人情報・財務等の機密文書除く)
- ②会計チェック用紙は不要用紙裏面活用後、シュレッターします。
- ③コピーする際プリンターの設定状況確認しミスプリントをなくします。
- ④コピー完了後リセットボタンを押すことを徹底します。
- ⑤上記コピー注意事項をコピー機に貼付し徹底します。
- ⑥パソコンからのプリントアウトはプレビュー・用紙サイズ・枚数確認しプリントアウトします。
- ⑦社内イントラネットを活用し、紙ベースでの回覧を減らします。
- ⑧会議資料は必要最低限にします。

(2) 上水道・地下水使用量の削減

1) 削減目標

上水道・地下水使用量を、26年度の使用量を基準に、29年度末までに3%削減します。

2) 目標に向けた重点施策

- ①水道蛇口に節水コマを使用します。
- ②水道元栓を2回転締めます。
- ③自動車等洗車の節水意識の向上を図ります。
- ④手洗い場に節水PR用紙貼付し実行します。

(4) 廃棄物の削減とリサイクルの推進

1) 削減目標

廃棄物の分別を徹底し、廃棄物の削減と紙類のリサイクル率100%を推進します。

2) 目標達成に向けた重点施策

- ①3R(リデュース・リユース・リサイクル)により廃棄物の発生を抑制します。
- ②従来からの分別回収ボックスを設置継続し、廃棄物の削減に努めます。
- ③新聞紙、紙類、段ボール類、また紙類の機密情報はシュレッターダストとして紙再生業者へ搬入します。
- ④食堂厨房の生ゴミは厨房責任者が各日の昼食人数の確認徹底、品数等・適量化を図り生ゴミ発生を抑制します。

(5) グリーン物品の調達・推進

1) 推進目標

環境にやさしい物品の購入率を高め、環境負荷の低減に努めます。

2) 目標達成に向けた重点施策

① 文具・事務用品

文具・事務用品カタログにて、環境マークの付いた商品を優先的に購入します。

② OA用紙

OA用紙は古紙100%で白色度80%のものを優先的に使用します。

③ 什器・備品

グリーン購入ネットワークの購入ガイドラインに掲載している環境配慮設計商品を優先的に購入します。

④ 車輛

低公害車・低燃費車購入を推進します。

(6) 地域の環境保全活動への参加・支援

1) (社)石川県トラック協会主催のクリーン作戦への参加を継続実施します。

2) 地域の清掃・美化活動に取り組みます。

10 計画の推進体制

(1) 組織

ISO14001で構築した環境マネジメントシステムの環境マネジメント推進体制を準用します。

組織の内容及び役割については、別紙「環境マネジメント推進体制」及び「各部門責任者の環境に関する役割・責任および権限」を参照願います。

(2) 社員への研修

ISO14001で策定した一般教育・特定教育研修実施計画書を準用します。